

◆ 2022 ジュニアオリンピッククパラレルレース

- 1 エントリー PRGSの参加者は、各カテゴリー32名とする。
GSの成績上位32名（32位が複数の場合は抽選）
* 辞退者が出た場合は、繰り上げ出場とする。
- 2 実施方法 1回戦から準々決勝までは、1本だけの滑走で勝敗を決定する。
方式：シングルラン ノックアウトファイナル方式
- 3 出場条件
 - (1) GSスキーのみ使用を認めます。
K2: 188cm以下、ラディウスR17m以上。
K1: SAJ特別規定 130cm以上、R14m以上。
 - (2) ヘルメットの着用を義務とする。
* ヘルメットは、SL用のものは使用できません。
- 4 エントリーフィーについて
資格が確定した段階で、現地にて現金にて納入すること。（TCMで周知）
- 5 競技方法
 - 【一回戦から準々決勝】
 - (1) 各組GSの成績最上位者からBib1とする。Bibの若い選手にコースの選択権がある。
 - (2) 両方の競技者がコースを完走しなかった場合、より多くの旗門を滑走した競技者が次のラウンドに進む。
・両方の競技者が同じ旗門でコースアウトした場合、または同タイムだった場合、予選順位の良い方(Bibの若い)が次のラウンドに進む。
 - 【準決勝以降】 *1, 2本のランタイムの合計タイムで勝敗を決する。
方式：2本滑走のKOファイナルフォーマット
 - (1) 競技者の各ペアは2本の滑走を行う。競技者は2本目でコースを交換する
ペアの上位の競技者は（ビブNo.の若い方）、1本目をレッドコースで出走する。
 - (2) 2本目の滑走は、競技者はコースを交換する。
 - (3) ペナルティタイムは、前日のテストラン(前走により実施)より計算し、TCMで発表する。
すべての場合において、各ペアの1本目の滑走のタイム差はペナルティタイムよりも大きくなることはない。
ラウンドの1本目の滑走でフィニッシュしなかった競技者は、ペナルティタイムを負って2本目を出走する。
* *遅延スタートドアは使用しない。（2本目もスタートドアは同時にオープンする）
 - (4) 2本目の滑走でフィニッシュしなかった場合は、敗者になる。（1本目勝者でも）

- (5) 両方の競技者がフィニッシュしなかった場合、旗門をより多く通過した競技者が勝者となる。
*1 本目の滑走：ペナルティタイム分、1 本目の勝者が勝ちとなる。
*2 本目の滑走：勝者が次のラウンドへ進出する。
- (6) 両方の競技者がコースをフィニッシュせず、さらに同じ旗門で停止または転倒、もしくは失格となった場合、**前のヒートのタイムの速かった者を勝者とする。**
- (7) 次の場合は、失格とする。
- ① もう一方のコースへコース変更をする。
 - ② 故意または無意識で対戦相手を邪魔する。
 - ③ 旗門を正しく通過しない
 - ④ DNS

6 順位決定方法

- (1) 1/16ヒートで負けた16名の順位は、ランタイムで決定される。ランタイムが計測されていない場合、ビブNo.の若い順（予選上位）とする。
- (2) 1/8ヒートで負けた8名の順位は、ランタイムで決定される。ランタイムが計測されていない場合、1/16ヒートのタイムで決定する。
1/16ヒートのタイムのない選手の順位は、ビブNo.の若い順（予選上位）とする。
- (3) 1/4ヒートで負けた4名の順位は、ランタイムで決定される。ランタイムが計測されていない場合、1/8ヒートのタイムで決定する。
1/8ヒートのタイムのない選手の順位は、1/16ヒートのタイムで決定し、
1/16ヒートのタイムもない選手の順位は、ビブNo.の若い順（予選上位）とする。
- (4) スモールファイナルの勝者が3位、敗者が4位となる。
- (5) ビッグファイナルの勝者が1位、敗者が2位となる。
- (6) 対戦相手がDNSの場合でも、ランタイムを取るために滑走しなければならない。
- (7) ビッグファイナルの合計タイムが同タイムだった場合は、双方を1位とする。
- (8) スモールファイナルの合計タイムが同タイムだった場合は、双方を3位とする。

7 滑走順

- (1) すべてのカテゴリーの1/16ファイナル
- ・ K1女子⇒K1男子⇒K2女子⇒K2男子
 - ・ 各カテゴリーはトーナメント表のヒート番号順とする。
- (2) すべてのカテゴリーの1/8ファイナル
- (3) すべてのカテゴリーの1/4ファイナル
- (4) すべてのカテゴリーの1/2ファイナル（1本目、2本目）
- (5) すべてのカテゴリーのSmall ファイナル（1本目、2本目）
- (6) すべてのカテゴリーのBig ファイナル（1本目、2本目）